



令和7年10月31日

武蔵台学園だより 11月号

東京都立武蔵台学園 校長 金子 猛
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-8-28
電話 (042) 576-7491 FAX (042) 576-7526

ホームページアドレス <http://www.musashidai-sh.metro.tokyo.jp/>

社会資源を活用しての経験の蓄積

副校長 小松 弘喜

酷暑と呼ばれた夏が過ぎ去り、朝晩は一気に気温が下がってきました。一日の中で寒暖差が大きくなってきており、体調を整えるのに大変なところです。

そのような気候の中、学校では各学部・学年で校外の活動を次々と実施しています。小学部の遠足や中学部での校外学習では、学年が上がるにつれ、学校からのスクールバスでの移動から公共交通機関利用による移動へと、自立に向けた指導の段階を進めています。高等部の職場実習では、実習先の最寄駅や実習先で担当教員と待ち合わせをするというような経験を積むなど、子供たちが社会生活の中でできることを広げていく学習に取り組んでいます。

10月には遠足、移動教室、校外学習を各学部で実施しました。小学部5年生は初めての宿泊行事であることから、荷物係や食事係などの役割分担も含めて事前学習を念入りに行いました。宿泊先に着いた頃には緊張した様子がありましたが、事前学習の成果を発揮し、行程中は見通しをもって活動を進めることができました。中学部2年生の移動教室では、生徒たちが事前に決まっていた係活動を楽しみながら行うとともに、見学先での態度や宿舎内での生活も社会性をもって過ごすことができました。高等部1年生の校外学習では、公共交通機関の利用や一般の人と混ざりながらの公共施設での食事・見学を支障なく行うことができました。実際の体験を通して経験を積み重ねていくことで、子供たちの社会性の幅を広げていくことを実感できたそれぞれの校外活動でした。障害の有無にかかわらず、見通しの立たないこと、分からないことには不安を感じます。子供たちは具体的な体験から多くの情報を吸収し、力を付けて成長します。校外の活動は、適切な服装や態度を含めた社会での一般的なマナーやルールを学ぶために不可欠です。同時に、一般の方々にも障害児・者が普通に社会生活を送ることができることを知ってもらう機会となります。傍にいた大人は、それを常に意識し、子供の見本でありたいところです。



小5宿泊先 わくわくビル



中2活動先 相模湖MORI MORI

★コラム 小学部【仕事を知ろう 消防署見学】★

小学部6年生では「仕事を知ろう・就業体験」の学習を行っています。都立多摩図書館を訪問して働く人の様子を見学し、本棚の清掃や絵本のシール貼りの仕事を体験しました。

今年度は新たに国分寺消防署を訪問し、見学や体験を通して興味や関心を広げ、働く人の役割を知る学習を行いました。訓練の見学や防火服の着装体験など、緊張感のある中一人一人が真剣な表情で参加していました。間近で見る緊急車両の迫力にも「すごい！」と驚いた様子でした。6年生の移動教室では、消防博物館を見学します。学んだことを更に深めていきたいです。

